

かいはつ グラフ



一般国道 276 号喜茂別町相川ビューポイントパーキングより撮影

体験型ツーリズムで北海道を堪能しよう

第1回 観光資源を歩いてつなぐフットパス

事業紹介 /

生産性の向上、優良農地の確保で地域の活性化へ 国営緊急農地再編整備事業 ニセコ地区

インタビュー／ニセコ農業を次の世代に引き継ぐために

新千歳空港・札幌からニセコへのアクセス向上へ 一般国道5号 倶知安余市道路（共和～余市）

シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルート

しごと最前線／ 北海道農業の振興に貢献を



北海道農業の振興に貢献を

北海道開発局農業水産部農業調査課
農用地第2係主任 **栎本 味千代**

二セコ地区の調査は、平成十九年度から3年間、地域の課題や状況を的確に把握して農業基盤の整備方向を概定するための「地域整備方向検討調査」を行い、その後、平成二十二年度からの4年間、技術的・経済的な妥当性を検証して事業計画案を策定するための「地区調査」が行われました。私は地区調査初年目から最終年までの4年間一担当として関わらせていただきました。

また、農家に整備後の具体的イメージをもつてもらうために、道内の先進地の視察を毎年行っていましたが、調査3～4年目には二十代から三十代の若い後継者の参加も増え、事業に対する期待が高まっていることを実感しました。

町の関係者も、町のホームページや

農家との真似の議論と興味深く耳聴ける



農家との真剣な議論の様子（上）と先進地視察で興味深く耳を傾ける農家（左）



はみだしクイズの回答

- ア 蘭越町：お米の産地として知られる蘭越町は良質な温泉でも有名です。

イ 倶知安町：町のシンボル的なキャラクターじゃが太くんがスキーをしています。夏にはくっちゃんじゃが祭りが催されます。

ウ 真狩村：観光名所の羊蹄山が描かれています。

エ 喜茂別町：日本で最初にアスパラガスの本格栽培を始めた喜茂別町は、特産品のアスパラガスと羊蹄山が描かれています。

オ 永京町：ふきだし公園と羊蹄山です。羊蹄山からの湧き水が一年中湧出しています。

カ ニセコ町：世界的なリゾート地ニセコの冬の代名詞スキーとニセコの川々です。

ニセコ地区は現在、事業着手に向けた手続き中であり、平成二十七年度には工事が開始される予定です。この事業によって、地域の農業は大きく変わります。まさにニセコ町の未来のための事業であり、その一端に携わられたことに感謝しています。

また、現在担当している調査地区も、ニセコ地区のように基盤整備を必要としている地区ばかりです。これからも、北海道農業の振興に少しでも役立てるよう、頑張っていきたいと思っています。

私が今年の4月から所属している農業調査課では、農業農村整備事業の調査計画に関する業務を行っています。私は、その中で「農地再編整備事業」の調査計画を担当しています。農地再

は、農家が何度も集まり、自分の農地だけでなく、地域農業の将来の姿についても真剣な議論がなされました。その中で、自分は既に離農しているが若い世代のために条件の良い農地を残し

広報誌に事業のコーナーを設けて常に最新の情報を発信する等、事業の普及に積極的に取り組んでいました。

4年間の調査期間中には大変なこともありましたが、地元の方々の熱意があつ

体験型ツーリズムで北海道を堪能しよう！

第1回 観光資源を歩いてつなぐフットバス

北海道は、広大な大地と豊かな自然、おいしい農水産品などを背景とした豊富な観光資源があります。

サイクルツーリズムを始めとした体験型ツーリズムは、こうした北海道の魅力を全身で感じることのできる北海道にうつてつけの観光と言えます。かいはつグラフでは、道内各地の体験型ツーリズムを紹介します。



①島記念館から見た羊蹄山

フットバスで大自然を体感しよう

フットバスという言葉をご存じでしょうか？地域のありのままの自然や風景を楽しみながら歩くことがで、イギリスが発祥の地とされています。道内各地で自治体や市民団体を中心にフットバスコースの整備などの取組が進められており、観光案内所などにおすすめのコースマップを置いている地域もあります。

北海道は新緑の季節を迎え、これから本格的な行楽シーズンを迎えます。

誰でも、自分のペースで、気軽に楽しめるフットバスで、北海道の自然を満喫してはいかがでしょうか？

今回は、自治体が紹介しているフットバスコースのうち、ニセコ町おすすめのコースを紹介します。

ニセコエリアは、札幌から国道230号を通り中山

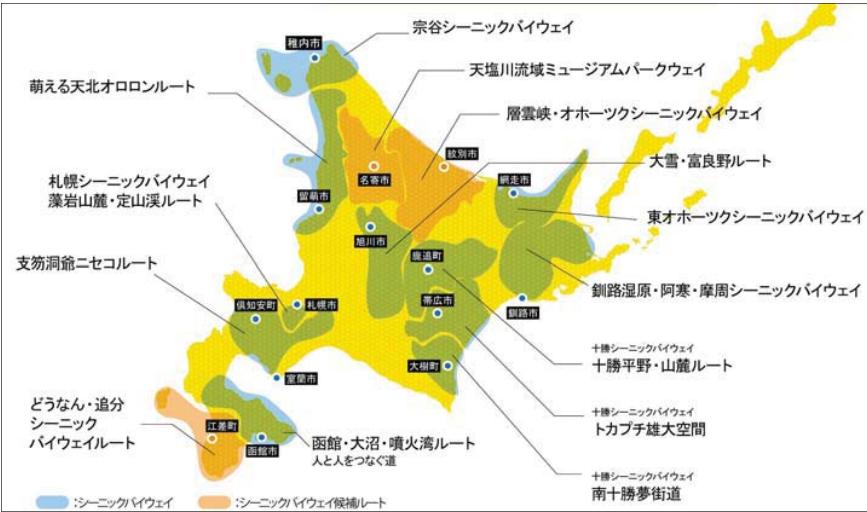
道内のフットバスコース

道内では様々な団体がフットバスコースの紹介やイベントの開催を行っています。稚内では氷河期に形成されたという周氷河地形の宗谷丘陵をめぐるコース、函館では酪農家が自分たちの牧場をつなげて作ったコース、函館では、日本最古の観覧車やコンクリート電柱などの土木・産業遺産を巡るコースなど、地域の観光資源を活かした特色あるコースがホームページなど紹介されています。

この地域では、豊かな自然を背景に、春から秋はニセコ連峰や羊蹄山への登山・トレッキング、尻別川でのラフティングや渓流釣り、冬はスキーやスノーボードなど、1年を通じて、様々な体験をすることができます。

峠を越えて行くか、小樽回りで国道5号線を通り稻穂峠を越えて、車で約2時間の位置にあり、周囲を羊蹄山やニセコ連峰の山岳に囲まれた自然豊かな地域です。

この地域では、豊かな自然を背景に、春から秋はニセコ連峰や羊蹄山への登山・トレッキング、尻別川でのラフティングや渓流釣り、冬はスキーやスノーボードなど、1年を通じて、様々な体験をすることができます。



支笏洞爺ニセコルートは、北海道の中央部、支笏湖や洞爺湖、有珠山、羊蹄山などがある支笏洞爺国立公園と、ニセコ連峰などがあるニセコ積丹小樽海岸国定公園の2つの国立公園を走るルートです。日本を代表する自然と景観に出会えるこのルートは、3つのエリアで構成されています。



道路を通じて魅力的な地域づくりの一歩と3つの候補ルートがあり、約400団体が活動しています。

2つの国立・国定公園を通る魅力的なルート→支笏洞爺ニセコルート

支笏洞爺ニセコルートは、北海道の中央部、支笏湖や洞爺湖、有珠山、羊蹄山などがある支笏洞爺国立公園と、ニセコ連峰などがあるニセコ積丹小樽海岸国定公園の2つの国立・国定公園を走るルートです。

日本を代表する自然と景観に出会えるこのルートは、3つのエリアで構成されています。

支笏洞爺ニセコルート

400団体が活動しています。

現在、全道で11ルートの指定ルートと3つの候補ルートがあり、約400団体が活動しています。

今回紹介したニセコエリアでは、農産物の生産性の向上や、札幌・新千歳空港から訪れる観光客のアクセス改善などを図るため、各種の事業を展開しています。

生産性の向上、優良農地の確保で地域の活性化へ

国営緊急農地再編整備事業 ニセコ地区

ニセコ地区は、羊蹄山とニセコ連峰の麓に拓けた自然豊かな農業地帯です。木に代表される丘陵地のほか、尻別川沿いの低平地に農地が拓けた雄大な農村景観を形成しています。

ニセコ地区では、畑作野菜、水稻、酪農など、多種多様な営農が展開されています。また、「ニセコじやが」をはじめとした地域ブランドの定着に向けて、農産物直売所などを活用した地産地消を積極的に推進しています。



羊蹄山を背景とする美しい農村景観

しかしながら、地区内の農地は基盤整備が遅れており、小区画や急傾斜、排水不良などのほ場条件から生産性が低く、農家の高齢化が進展する中で、担い手農家への農地の承継が困難なため、耕作放棄地の増加が懸念されています。



急傾斜な畠での人力によるジャガイモ収穫作業

INTERVIEW

～ニセコ農業を次の世代に引き継ぐために～

ニセコ町国営農地再編推進室 中村 正人氏

ニセコ町国営農地再編推進室の中村係長に、ニセコ町における農業の取り組みや今後実施される国営土地改良事業への期待について、お話しを伺いました。



ニセコ町農業の取り組みについて教えてください

ニセコ町は、ジャガイモやアスパラ、メロン、ゆり根などの畑作や野菜作のほか、水田や酪農など、多様な農業が営まれています。町では、地産地消に取り組んでおり、平成十二年から町内の小学校給食で使用されるお米は、全量がニセコ町産となつたほか、お米以外の野菜も相当量、地元産が使われるようになりました。飲食店などで地場農産物使用の呼び掛けも行っており、ホテルで提供される食事などで使用頂いています。

ニセコ町といえば、ジャガイモ（男爵、きたあかり）で有名ですが、それ以外の農作物も減農薬・減化学肥料によるクリーン農業に積極的に取り組んでおり、安全・安心なニセコ産農作物の提供に努めています。

（次のページに続く。）



減農薬・減化学肥料の取り組みにより Yes!clean の基準をクリアしたニセコ産野菜

INTERVIEW

（インタビュー 続き） 「ニセコ町のブランド化・6次産業化の取り組みについて」

INTERVIEW

（インタビュー 続き） 「国営土地改良事業 ニセコ地区について」

また、道の駅ニセコビュープラザ併設の農産物直売所に代表されるように、直売についても好調です。



ニセコ町の地酒「藏人衆」。
道の駅ほか町内で購入可能。



ニセコ町で大規模な土地改良事業が行われるのは、今回が初めてのことです。計画した当初は約700haの農地しか手が上がりません

エコでクリーンな米貯蔵施設で「ようてい米ブランド」の確立へ！

平成25年10月にJAようついがニセコ町に米低温貯蔵施設を建設しました。

この施設は、雪の多いニセコ地域の特色を活かし、雪を利用した冷房システムを採用しています。

この貯蔵庫でニセコ町ほか近隣2町の YES!clean 基準を満たす特別栽培米の集出荷の管理を行い、地域ブランド化をめざします。



貯蔵庫内の大量の雪（左）が溶けた冷水を熱交換機（中）により倉庫内の空気と熱交換し、倉庫上部のダクト（右）を通して冷房する。